

【8月9日】

大湫町の「夏休み工作講座ボランティア」に 5名の生徒が参加しました

今年度初めてのボランティアの依頼が、今回の大湫公民館主催の「夏休み工作講座ボランティア」です。瑞浪北中学校から2年生3名、3年生2名の計5名の参加がありました。

当日は、大湫町在住の子どもたちと、ちょうど帰省していた大湫町出身の方の子どもたちが集まり、大変にぎやかでした。新聞紙を丸めて動物を作ったりおもちゃを作ったりする子どもたち



の手伝いを中学生が担いました。幼い子に声をかけたりあやしたりして、楽しそうに活動に取り組む中学生の姿が印象的でした。



この工作教室を取り仕切った担当の方は、中学生ボランティアにお願いするのは初めてで、その分緊張していらっしやったようです。しかし、参加した中学生たちは自分たちなりに考え、一生懸命動いていました。まさに、主体性がここでも発揮されたと言ってもよいでしょう。

後日、その担当の方がお便りをくださいました。そこには、次のように書かれていました。

「先日の『夏休み工作教室』では瑞浪北中学校から5名のボランティアに来ていただきました。ありがとうございました。私がボランティアをお願いするのは初めてで、たくさんの参加

者でこちらがオロオロしてしまいました。ボランティアの人たちに的確な指示が出せず申し訳なく思いました。最後に床掃除を手伝っていただき何とか終わることができました。ありがとうございました。」

指示を期待するのではなく、自分で考えて動くこと、それが北中の求める「主体性」です。それが実現できれば、自分たちだけではなく、周りの人たちも笑顔にすることができるでしょう。

